

医療機関の倒産 "多発化時代"に

今年既に一三件発生 今後も続くのは必至

医療機関の倒産が再び目立ってきた。
民間の調査機関(東京商工リサーチ)の調べによると、今年に入ってから医療機関の倒産は、一月に二件、二月に二件、三月に四件、四月に五件、計一三件の倒産が既に出ている。負債総額も二六三億三〇〇万円と大型化していることが判った。

医療機関の倒産は、いわゆる五段階税制が導入された翌年の昭和五十五年頃から増え始め、五十五年には、前年の一九件から一挙に倍の三九件にも急増、五十六年は三五件と一段落したもの、五十七年には再び増加傾向をみせはじめ、同年だけで四三件(負債総額一六六億七〇〇万円)と、過去最高の倒産件数を記録。

許されない時代

これら倒産の直接の原因は、厚生省の吉村保険局長が五月十一日の衆議院決算委員会で答弁したように、大部分が放漫経営や過剰な設備投資だが、①我が国が既に医師過剰時代に入ってきたこと、②もかわらず人口の伸び悩み、出生率の低下等で患者は頭打ちの状態となり、過当競争に陥っていること、③五十六年六月の引下げに続いて今年一月から薬価基準がさらに四・九%引下げられたことで収入が減り、二月からの老人保健法の影響が出てきたこともあって、資金繰りが苦しくなってきたこと、④大きな要因。

医療機関倒産の推移

年	(件)	(百万円)
54	19	4,400
55	39	18,400
56	35	21,637
57	43	16,607
58年1月	2	630
2月	2	115
3月	4	400
4月	5	25,190

「今までは患者の伸びもあって収入もよかったが、それによって無計画な設備投資や多少の放漫経営はカバリー出来たが、最近はその経営の甘さが許されなくなっ

てきた(東京商工リサーチ)というのが医療機関経営の現実だろう。

しかも今後当分の間は、国家財政の状況からみて、たよりの診療報酬引上げは、医療機関の強い期待にもかかわらず望み薄の状態であり、むしろ、医療費適正化とい

後天性免疫不全症候群 実態把握研究班が発足

安部帝京大部長中心に 対策の早期確立期す

ホモセクシュアルの男性を中心に米国で患者が多数発生している後天性免疫不全症候群(AIDS)について、我が国の実態を調査するため、厚生省に研究班が設けられ、十三日にその第一日目の会合を開催、早急に対策の検討に乗り出すことにした。

AIDSは、米国では一九八一年六月以来これまでに一四五〇例が報告されており、その殆どのケースは、①多数の相手を持つホモセクシュアルの男性、②静注薬乱用者、③米国移住ハイチ人、④血友病患者の四グループからのもので、最近の検査でAIDSと認められた患者の九五%が男性、しかも全体の四分の三のケースがホモセクシュアルか両性愛の男性で

う名目で医療費は総体として抑制されていく傾向にある。

このため、医療機関の倒産も今後はいかに増えしていくことが予想され、それだけに、医療機関の経営の合理化、近代化が、地域医療の確保・推進のうえから強く望まれている。

あったという。

米国の他にも一七カ国で合計一〇六例の報告がなされており、現在でも一日平均で新たな患者が四〜五例の割合で報告されている。

米国防疫センター(CDC)では、AIDSを、細胞性免疫の少なくとも中等度の欠損を思わせる感染症に罹患していること、細胞性免疫の欠損の原因が不明であることと定義しているが、AIDSにみられる感染症には、カポジ肉腫、ニューモシスティス・カリニ肺炎、その他の日和見感染症等が多いとされており、死亡率(約四〇%)もかなり高い。

このAIDSについては、我が国ではまだ報告がなされていないが、本当に存在しないのか、あ

るいは新しい疾患であるため、医師が見落している恐れもあり、今回の研究班の設置となったものである。

研究班では、今後早急にAIDS対策を検討し、確立していくことにしているが、米国では既にこの四月に、①AIDSあるいはその恐れのある者との性的接触は避けること、②AIDS感染の危険性の高いグループの人は血漿又は血液成分を提供すべきでない、③AIDS混入の危険性の高い血液や血漿を同定し、除去するスクリーニング法を検討すべきである、④医師は直ちに輸血における適応症に注意すべきであり、自己血液輸血をすすんで行うべきである、⑤血友病患者に使われるより安全な血液製剤の開発を継続すべきである、⑥一などの暫定勧告が、保健局補佐官から発表されている。

OIDSの実態把握に関する研究班(※主任研究者)

- *安部 英(帝京大医学部長)
- 声沢正見(国立公衛院長)
- 大河内一雄(九大教授)
- 岡本昭二(千葉大教授)
- 塩川優一(順天堂大教授)
- 徳永栄一(日赤中央血液センター)
- 西岡久寿弥(都臨床医学総合研 副所長)
- 安田純一(国立予研部長)
- 松田重三(帝京大講師)